

製品・サービス動向-国内**■アイネット、ビデオ会議クラウドサービス「Mobile Meets」Version3.0の提供開始**

株式会社アイネット(横浜市西区)は、ビデオ会議クラウドサービス「Mobile Meets」Version3.0の提供を8月25日より開始した。(8月25日)

今回発表された新しいバージョンの変更点および新規追加機能は以下のとおり。

(1)ゲスト招待者はブラウザ Plugin でビデオ会議に参加することが可能になった。これまではアプリケーションをダウンロードする必要があったが、今回より Plugin 方式に移行することで、ユーザはアプリケーションをダウンロードする手間がはぶけ、招待された URL リンクをクリックするだけで会議に入れる。

(2)チャット機能の追加。たとえば、外出先や移動中の電車の中など声を発しにくい場所でも、イヤホンで会話を聴きながらチャット機能を利用して発言可能となる。なお、会議の経過時間も表示されるようになっている。

Mobile Meets は、スマートフォンやタブレット対応した、HD 高画質、高音質のクラウド型ビデオ会議サービス。1 ユーザあたり Mobile Meets のアカウントを持たない人を 5 名まで会議に招待でき、2 ユーザの場合は、6 名会議を 2 つ実施することができる。基本契約内容には、ゲスト招待機能(無償)も含まれている。オプション機能としては録画機能を用意している。

2~4 ユーザモデルの場合、月額 9,000 円/1 ユーザで提供。5 ユーザ以上での利用は同社へ確認。サービス利用窓口は、同社クラウドサービス本部クラウドサービス事業部。

■ブイキューブ、Web セミナーサービス「V-CUBE セミナー」のアップデート実施、視聴環境チェック、再生速度、編集機能など追加

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、Web セミナーサービス「V-CUBE セミナー」のアップデートを実施した。(8月26日)

V-CUBE セミナーの利用シーンは、社内研修だけでなく、自社製品のセミナーや会員向け教育コンテンツ配信へと広がっている。今回のアップデート対象製品は、「V-CUBE セミナー Ver.4.3.7.0」と「V-CUBE セミナー モバイル Ver.1.11.0」。セミナーの主催者や受講者側といったユーザからの要望を反映したもの。

主な機能強化は以下の通り。

(1)視聴環境チェック機能を追加:モバイルデバイスからの Web セミナー視聴の増加にともない、いつでもどこでも最適な環境で視聴できるよう、タブレットやスマートフォンから受講者自身が視聴環境を確認できるメニューを追加した。

(2)オンデマンド録画コンテンツの再生速度を拡充:通常再生に加え、1.5 倍速、2 倍速といった三段階でオンデマンド録画コンテンツとなった Web セミナーを視聴できるようになった。受講者がより短い時間で効率的に情報収集や学習を行える。

(3)オンデマンドコンテンツの編集機能を強化:再生順番の変更、「取り消し」「やり直し」といった操作機能の追加、100 ミリ秒単位での編集が可能になった。オンデマンド録画コンテンツの編集をさらに行いやすいようにした。

ブイキューブでは、今後も、Web セミナーの利用環境や利用シーンの多様化に合わせた利便性の向上を進めていくとしている。

■ギンガシステム、多地点テレビ会議サービス「ミーティングネット」において「画面位置固定機能」を提供開始

ギンガシステム株式会社(東京都中央区)は、同社が提供する多地点テレビ会議サービス「ミーティングネット」において、「画面位置固定機能」を8月27日より提供開始する。(8月27日)

同社が提供するミーティングネットは、ISDN回線およびIP回線のいずれにも対応した多地点テレビ会議サービス。同時接続地点の制限はなく、テレビ会議を利用できる。

今回発表された画面位置固定機能は、ミーティングネットでテレビ会議に参加する拠点のうち、指定した1か所の地点の映像について、画面上の表示位置を固定する機能。

たとえば、本社や会議の司会進行をする地点など、テレビ会議の中心となる地点を指定することにより、その地点の映像を常に左上に表示させることが可能になる。本社から全国の拠点への社長講和を配信したり、全国の拠点が参加する重要な会議で本社を表示する画面位置を固定したいといった場合などでこの機能が活用できると説明している。

ギンガシステムは、今後も、利便性の高い機能を提供することで、顧客のコスト削減や業績向上、業務効率向上に貢献していきたいとしている。

■ブイキューブ、「V-CUBE ミーティング」「V-CUBE ドキュメント」「V-CUBE セールス&サポート」各サービスのアップデートを実施:発言者の映像を自動で拡大表示する機能など

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、「V-CUBE ミーティング」「V-CUBE ドキュメント」「V-CUBE セールス&サポート」各サービスのアップデートを8月29日に実施した。(8月29日)

対象製品は、V-CUBE ミーティング Ver. 4.9.9.0、V-CUBE ドキュメント Ver.4.9.9.0、V-CUBE セールス&サポート Ver.4.9.9.0。

V-CUBE ミーティングの主なアップデート事項は、以下の通り。(1)「アクティブスピーカーモード」を追加:最大映像数より多い参加者があった場合、会議や打ち合わせの発言者がわかりやすいよう、発言者の映像を自動で拡大表示するもの。ただし、自映像など一部の表示は固定となる。

(2)テレビ会議システム Polycom との接続機能を強化:これまで Web 会議サービス側からのみとなっていた資料共有をテレビ会議システム側からも実施できるようになった。これにより、会議や打ち合わせの内容に合わせて、双方から自由に資料を共有したり切り替えたりすることができる。なお、プロトコルには BFCP を使用している。

一方、3 製品共通において主なアップデートは、メンバー ID やスタッフ ID のパスワード変更をメンバーやスタッフ自ら行えるようにした点。これまで管理者権限に限定されていたが、管理者負担軽減などのため追加した。

以上のほかのアップデート項目については、同社 Web サイトの「サービスのお知らせ一覧(2014 年)」で詳細が掲載されている。

■アバー・インフォメーション、内蔵 MCU を搭載した最大 1080p/30fps 対応テレビ会議システムの 2 モデルを国内向け発表

アバー・インフォメーション株式会社(東京都千代田区)は、内蔵 MCU を搭載した最大 1080p/30fps 対応テレビ会議システムの 2 モデル「EVC300」「EVC900」を発売する。(8月4日、8月18日取材)

「アバーのテレビ会議システムは、“手軽”、“かんたん”、“あらゆるオフィスにテレビ会議システムを”をコンセプトに開発されており、他社製品に比べコストパフォーマンスの高い製品だ。」(アバー・インフォメーション)

同社は、台湾メーカーであるアバー・インフォメーション社の日本法人。本社は1990年に台北に設立。テレビ会議システム、書画カメラ、タブレットPC学習ソリューション・充電カート、IP 映像監視ソリューションなどをワールドワイドに販売している。書画カメラについては、米国、英国、西ヨーロッパな

ど4年連続(2009年～2012年)最大の販売台数を誇る。その中で、学校教室向け ICT ソリューションにも力をいれている。

テレビ会議システムについては、2010年に参入して以来、他社製品と同等の性能と機能を提供しながらコストパフォーマンスの高い製品を市場に提供してきた。同社の製品は、中小企業から中堅大規模企業まで対応している。

国内の導入では、製造業、コンサル、広告代理店、小売店舗、学校など幅広く国内で採用されており、営業所や工場などと結んだ各種会議のほか、店舗間などでは常時接続、海外大学との共同研究、学校間の交流授業などに活用されている。一例として、多地点接続サービスと組み合わせた30台規模の導入実績もあるという。

「H.323 や SIP に対応しているため、新規導入はもとより、既存の他社メーカーテレビ会議環境への入れ替えや追加の導入事例も多い。」(アバー・インフォメーション)

証がつく。

これら内蔵 MCU 搭載モデルを親機とし、また、すでに販売されている「EVC100」と「EVC125P」(内蔵 MCU なし、720p30fps モデル)を子機とした多拠点コミュニケーションを手軽に構築できるようになっている。操作の簡単なユーザーインターフェイスに加え、話者は自動検知拡大で表示し、多画面分割(CP)レイアウトも会議の用途に合わせて豊富にそろえている。

PTZカメラは、200万画素 CMOS センサー搭載で16倍光学ズームに対応する。「他社メーカーで16倍光学ズームに対応したところは少ないと思う。大会議室でも参加者の表情をくっきり映し出すことができる。」(アバー・インフォメーション)

HDビデオ&HDコンテンツ共有(H.239デュアルビデオ)にも対応する。PC画面や書画カメラの共有した会議が行えるとともに、それらをデュアルモニター機能で2つのディスプレイに映し出すことも可能だ。

マイクについては、新開発ニューマイクアレイ技術により、アドバンスドノイズリダクション、オートゲインコントロール、エコーキャンセラーとともに臨場感あふれる音声品質を提供するとしている。加えて、本体から4台のマイク(オプション)をデジタルチェーン接続することで最大20～30人程度の大会議でも対応する。

会議録画にも対応する。市販のUSBメモリを本体にあるUSBスロットに差し込むことで映像・音声・コンテンツを含んだ会議の録画が簡単に行える。再生は本体でも、PC(専用ソフトあり)でも可能だ。

SIPサーバを内蔵(レジスタ機能)している。EVC900は10拠点までまたはEVC300は4拠点まで、アバー社製または他社製テレビ会議システムとSIPベースのデバイス、アプリ、ソフトウェアを接続することができるようになっている。

以上のほか、管理面では、Webベースの統合リモート管理ツール「WebTool」により、EVCシリーズにアクセスし、さま

Client Software (PC, iOS, Android) クライアントソフト	HD endpoint HD 端末	HD endpoint (PTZ Cam) HD 端末 (PTZカメラ)	full HD 4-site embedded MCU endpoint フルHD4MCU	full HD 10-site embedded MCU endpoint フルHD10MCU
				
EZMeetup	EVC100	EVC125P	EVC300	EVC900

フルHDや内蔵10拠点MCUなど機能強化された新EVCシリーズ (アバー・インフォメーション)

そこで今回、これまでのユーザからのフィードバックをもとに、アバー・インフォメーションは、EVCシリーズのラインナップ強化として、内蔵4拠点MCU搭載のEVC300と、内蔵10拠点MCUを搭載したEVC900を発表した。16倍光学ズーム搭載フルHD PTZカメラ、マイクアレイ、操作の簡単なユーザーインターフェイス、リアルタイムのフルHD1080pビデオ/コンテンツ共有機能、USBメモリ録画/再生機能などを標準装備している。さまざまな機能に加え3年間の無償製品保

さまざまなリモート管理制御が行えるようになっている。
Wake-on-LAN(WOL)による遠隔からの電源起動、LAN またはインターネットを介して AV システムとの統合制御も可能だ。

なお、秋発売予定のアーモバイルソフトウェア「EZMeetup」を組み合わせれば、EVC300/EVC900 それぞれの多地点テレビ会議に、PC、タブレット、スマートフォンから参加することもできる。同社では、今後も性能や機能の強化を積極的におこなっていくとしている。

価格はオープンプライス。日本での販売パートナーは、NTT アドバンステクノロジー株式会社(神奈川県川崎市)などがある。

**関連記事(NTT アドバンステクノロジー発表): 定期レポート 5 月 31 日号*

■ライフサイズ、LifeSize クラウドの国内販売を開始

ライフサイズ(東京都港区、株式会社ロジクール内)は、ビデオ会議サービス「LifeSize クラウド」を日本国内向けに提供開始した。(8月26日、8月27日メール取材)

LifeSize クラウドは、「LifeSize Icon」ビデオ会議システムといった専用端末のほか、スマートフォン、タブレット、ノート PC、一般電話などに対応しているクラウドサービス。最大 25 拠点を収容する仮想会議室を提供する。

LifeSize クラウドの利用は、10 ユーザからとなり年間契約となる。25 ユーザ以上の契約の場合は、1 ユーザ月額 2,500 円〜で利用できる。

北米と EU では 2014 年 5 月 21 日提供開始(日本での発表: 5 月 29 日)されており、販売チャネルパートナーを通じて、日本を含めた全世界 100 か国以上でサービスを購入できるようになった。

日本での LifeSize クラウド国内販売パートナーは、シネックスインフォテック株式会社(UC ソリューションチーム)、株式会社日立ハイテクノロジー(社会イノベーション第二営業本部スマートコミュニケーション部)、株式会社メディアブ

ラス(営業部)、VTV ジャパン株式会社(営業部)となっている。

なお、全機能を利用できる 14 日間の無償トライアルはライフサイズ Web サイトより申込ができるようになっている。

**関連記事(国内発表、サービス詳細説明): 定期レポート 6 月 15 日号*

■スターシステムズ、「Microsoft Lync」を最短 30 分で展開できるソリューションの販売開始

スターシステムズ株式会社(東京都港区)は、中小規模の企業向けクラウドサービス用 Lync 音声配信ソリューション「AudioCodes One Box 365」の販売を開始。(8月18日)

AudioCodes One Box 365 は、Microsoft Office 365 を使用するユーザに対して、Lync 音声実装に必要な全てのハードウェア、ソフトウェア、サービスをワンストップで提供するハイブリッドソリューション。事前にコンポーネントを統合することで、AudioCodes One Box 365 は構築を簡素化し、Office365 ライセンスを利用した企業用音声サービスの迅速な導入を可能にする。

主な特長は下記の通り。(1) Lync サービスは AudioCodes のアプライアンス製品にプリインストールされているため、ユーザはわずか 30 分で Lync サービスを展開することが可能。(2) ウィザードにより、ActiveDirectory と Lync ユーザの一括作成・管理が可能となっている。(3) Office365 のサポートによって Lync と Office365 を統合。(4) ISDN 回線(INS1500、INS64)、POTS(一般回線)、SBC(セッションボーダコントローラ)など既存のテレフォニーソリューションとの統合が容易になっている。(5) インスタントメッセージ(IM)のみを使用しているユーザも即座にサービスを展開し利用することができる。

AudioCodes One Box 365 は、AudioCodes 社製品。AudioCodes 社は 1993 年設立のイスラエル企業。企業やサービスプロバイダーが IP 音声ネットワークに全面的に移行するための統合音声ソリューションリーディングプロバイダ。

ビジネス動向-国内

■ブイキューブとパイオニア VC：名古屋に営業所を新設、中部エリアでの販売・サポート体制を強化

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、子会社であるパイオニア VC 株式会社(東京都目黒区)と共同で名古屋営業所を新設した。(8月18日)



ブイキューブ名古屋営業所（ブイキューブ）

名古屋は、大阪、福岡に続き国内4番目の営業拠点となる。中部拠点では、拠点間会議だけでなく、製造業をはじめとする企業での設計分野、文教での遠隔授業、官公庁での災害対策などでのニーズが高まっているという。顧客に近い場所できめ細やかな導入支援や運用サポートの要望に対応できるようにするため、今回の拠点開設となった。

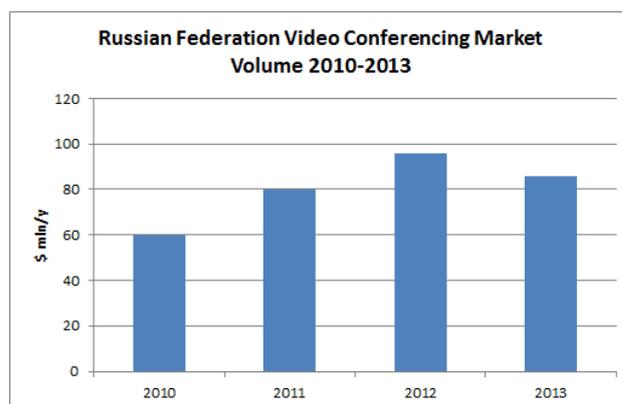
ブイキューブはパイオニア VC と共同で中部地区での営業展開を行い、幅広いシーンで活用できるサービス提供をすすめていくとしている。

ビジネス動向-海外

■TrueConf 社、2013 年のビデオ会議販売結果を発表

TrueConf 社(ロシア、モスクワ)は、2013 年の販売結果を発表した。市場の減速傾向にもかかわらず TrueConf 社としては、2012年に比べ2013年は20%の売上増を記録した。(4月29日、8月18日メール取材)

2013年のロシア市場は、グローバルビデオ会議システム市場の減速傾向と同様に、前年度から市場規模は減少し8,600万ドルであった。



ロシアビデオ会議市場（TrueConf）

TrueConf 社によると、2013年に市場規模が減少したとはいえ、ビデオ会議システムを利用しているユーザ数自体は年々増えており、その結果、同社では売上増が達成できたという。

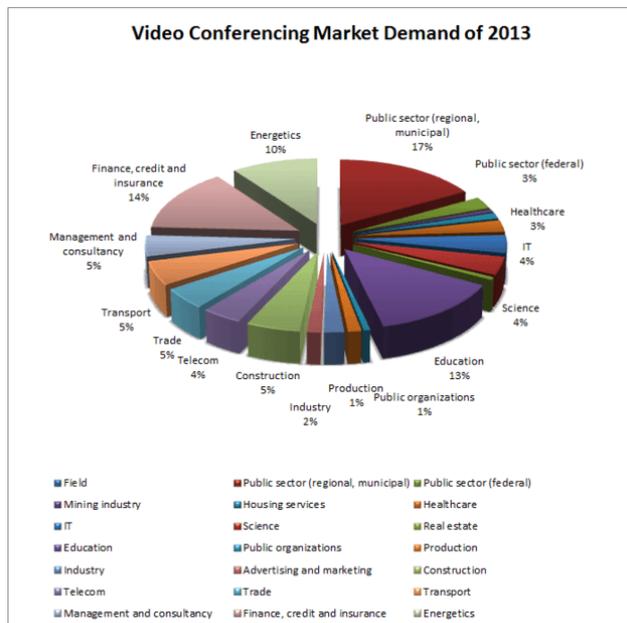
同社によると、これは需要自体が減少していることを反映しているのではなく、ビデオ会議システム製品の低コスト化の影響であり、ユーザがコストの安い製品を選択した結果だと分析する。

TrueConf の顧客あたりの導入台数(ライセンス)は、2012年の24.5から2013年には33.6に増加した。ただし、無期限のライセンスを購入するユーザよりも、年間ライセンスで導入するユーザが導入ユーザの半数を超えている。また、2012年に年間ライセンスで導入したユーザの35%が、2013年の更新時にライフタイムライセンスの購入に切り替えている。長期的にTrueConfを利用しようとするユーザが増加していることを示している。

クラウドの導入については、2012年と同様に2013年も、TrueConf 導入顧客の5%程度だった。システムを自社内に所有することを重視するユーザが大半だった(オンプレミス)。

TrueConf 導入顧客の傾向について。2012年は、IT関連企業やシステムインテグレータなどの導入が多かったが、2013年は、公共(17%)、金融(14%)、教育(13%)、エネルギー(10%)などが主なところ。その中で、教育分野はとりわけ2012年から倍増(7%→13%)している。遠隔教育への関心の

高まりが背景にあるとしている。



ビデオ会議導入ユーザ傾向 (TrueConf)

TrueConf社では、R&Dを積極的に行っており、2013年には、「TrueConf Server」、「TrueConf Online」、「TrueConf Mobile」、「TrueConf Terminal」、「TrueConf Enterprise」の5製品において15の新しいバージョンをリリースした。

また同社は、企業向けのソリューションにおいて WebRTC 技術を採用した初のベンダーであるとともに、BYOD 環境にもフルに対応している。加えて、ロシアの企業としては 4K に初めて対応したベンダーでもある。東欧においては、企業向けコミュニケーションおよびビデオ会議ソリューションで高い評価を得ている。

■ZTE 社と Blue Jeans Network 社、パートナーシップを締結、両社製品・サービスを組み合わせた展開開始

ZTE 社(中国、深セン)は、Blue Jeans Network 社(米国、カリフォルニア州)とパートナーシップを締結したと発表。(8月25日)

ZTE 社の VCS テレビ会議システムと Blue Jeans Network 社のビデオ会議クラウドサービスを組み合わせ、8月より、北米、ヨーロッパ、オーストラリア、シンガ

ポールにおいて提供される。

今回のパートナーシップは、Blue Jeans Network 社にとっては、同社のビデオ会議の相互接続性における技術力の高さを示すとともに、ビジネスエコシステムの拡大にプラスになるもので、一方、ZTE 社にとっては、新たな顧客の開拓につながると期待している。

■ZTE 社、テレビ会議市場でアジア太平洋地域シェア 1 位を保持

ZTE 社(中国、深セン)は、同社のマーケットシェア状況について発表した。(ZTE ジャパン:6月20日)

マーケットシェア状況については、米 Wainhouse Research 社の報告書を基に発表。アジア太平洋地域におけるテレビ会議市場(2013年)で、ZTE 社の収益と出荷台数は急成長し、収益に基づくマーケットシェアでは、2013年第1四半期から第4四半期で約2倍になっているという。そのうち、2013年第3四半期のシェアは23%から第4四半期は26%に上昇した。これにより、アジア太平洋地域では1位のマーケットシェアを保持し、ワールドワイドでは、テレビ会議ベンダーの上位3位にランクインしている。

ZTE 社は、2013年から、H.265対応テレビ会議端末や、映像解像度 1080p/60fps のテレプレゼンス端末「T900」、スマートテレビ会議システム「ET7000」などの製品をリリースし、世界のテレビ会議市場をリードしてきた。企業の機動性を向上させる製品をつくるとともに、中小企業からの要求に対して個別にカスタマイズしたソリューションを同社は提供してきた。加えて、クラウドベース テレビ会議技術の R&D にも積極的に取り組んでいる。世界中に18か所ある R&D センターでは、1,000名以上の技術者がテレビ会議システムの研究開発に取り組んでいる。1994年の市場参入からテレビ会議システムを開発し続けており、150以上の関連特許を取得している。

同社の統合型マルチメディア・テレビ会議サービスソリューションは、経営管理、交渉、遠隔教育、遠隔医療、オフィス間の協業、災害救援、緊急指揮、保証対応などの分野で

幅広く利用されているという。

なお、ZTE ジャパンは、3月5日、HD テレビ会議システム「T700 シリーズ」「T800 シリーズ」、多地点接続装置(MCU)「M900」、PC 向けテレビ会議ソフトウェア「T100 シリーズ」を国内向けに発表している。

*関連記事(国内発表):3月15日号

CNA レポート・ジャパン PR

■株式会社日立ハイテクノロジーズ

<http://cnar.jp/Hitachi-HighTech3.htm>

セミナー・展示会情報

<国内>

■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス「TeleOffice」体感セミナー

日時: 9月3日(水)/9月17日(水)14:00~16:00

会場: シャープ株式会社 東京支社

主催: シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込:

<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-a.html>

■ワークスタイル変革 Day 2014

日時: 9月4日(木)午前・午後

会場: ソラシティカンファレンスセンター(東京・御茶ノ水)

主催: 株式会社リックテレコム

詳細・申込: <http://www.ric.co.jp/expo/wsd2014/index.html>

■パナソニックの Web 会議ご紹介セミナー

~成功の鍵は「音だけではなかった!」 パナソニック×ヤマハで Web 会議の勘所を徹底解説~

日時: 9月5日(金)15時30分~17時30分(受付:15:00)

会場: パナソニック ソリューションテクノロジー本社 浜松町ビル

主催: パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

詳細・申込: <http://panasonic.co.jp/pstc/event/20140905/index.html>

*ヤマハの講演もあり。

■【中小企業向け無料セミナー】

IT を活用してコスト削減を実現し売上アップにつなげる方法が分かるセミナー

日時: 9月9日(火)14:00~16:30(開場:13:30)

会場: ギンガシステム 本社(東京都中央区)

主催: ギンガシステム株式会社

詳細・申込: <http://ginga-sys.jp/itst/>

■ワークスタイル変革セミナー

「場所や時間にとられない柔軟な働き方とは」

日時: 9月10日(水)14:00~17:00(受付:13:30~)

会場: OKI 虎ノ門本社(東京都港区)

主催: 沖電気工業株式会社

詳細・申込: <http://www.oki.com/jp/event/ws2014/index.html>

■【“見える”カレッジセミナー in 大阪】お待たせしました！これがV-CUBEの充実したサポート！ Web 会議のプロが全てお見せします

日時: 9月12日(金)14:30~17:30(受付開始:14:00~)

会場: NSEリアルエステート梅田店A室(大阪市北区)

主催: 株式会社ブイキューブ

詳細・申込: <https://vcube.smtg.jp/public/seminar/view/141>

国内その他: <http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他: <http://cnar.jp/cna/event-r.html>

* イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作: カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

情報発信について

CNAレポート・ジャパン(橋本啓介)では、国内外における、「製品・サービス」「ビジネス」「ユーザ導入・利用」「決算発表」「人事発表」「市場統計データ」「セミナー・展示会」といった観点から、インターネットに公開されている、各社のプレスリリースやお知らせ、ニュースメディアサイト、ポータルサイト、ブログ、掲示板、youtube、メルマガ、Linkedin、Twitter、Facebook、google+などに掲載されている遠隔会議関連の情報を日々収集しております。

下記配信では、市場トレンドを見ていく上で参考になると思われる情報を配信しています。皆さまの情報収集と合わせてご利用いただければと存じます。

定期レポート(15日・月末発行):各社からのプレスリリース、CNAレポート・ジャパン直接取材による記事

Dtc-forum メーリングリスト、フェイスブック&Twitter(それぞれほぼ毎日配信):定期レポートであつまっている各社からのプレスリリースや直接取材に加え、遠隔会議システムに関する情報全般。詳細は、<http://cnar.jp>「情報配信について」をご覧ください。

編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。

次号もよろしくお願ひ致します。

CNAレポート・ジャパン 橋本啓介